

(様式第3号)

企業・団体名(株式会社はたらクリエイト)

SDGs達成に向けた具体的な取組 (要件2) 【R5.11.30様式改定】

カテゴリー	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (異などの取得証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本			・雇用、教育、登用、福利厚生などあらゆる雇用条件で差別しない体制を構築し、経営トップが積極的に関与している ・相談窓口を設置している					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本			・ハラスメントを禁止する旨を就業規則に明記している ・相談窓口を設置している					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本			・多様な働き方ができる勤務体制の整備、労働生産性の改善、時間管理を行っている								8.5 8.8									
4	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本			・雇用、教育、登用、福利厚生などあらゆる雇用条件で差別しない体制を構築し、経営トップが積極的に関与している ・相談窓口を設置している				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
5	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本			・従業員の健康維持のための取り組みや社内清掃などに力を入れている ・快適に仕事ができるよう照明、空調、椅子、会議室などの整備している			3					8									
6 人権・労働	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本			・月に1度業務やワークライフバランスの満足度についてアンケート調査を実施。回答に応じてキャリアサポート、メンタルサポートを受けられるように整備している ・社内にヘルスケアチームを設置し、相談窓口を開設している				3													
7	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本			・「地方における女性のキャリア課題」に向き合いながら、女性が働き続けられるための組織づくり・文化醸成等、環境整備に取り組んでいる ・子育てや介護などの制約がある中でも仕事ができるよう、託児所の併設、子連れ出社制度、フレックスタイム制、在宅勤務などを導入している ・ライフステージに合わせて雇用形態を選択し、パートタイマーから正社員雇用につながるステップを構築している					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本			・従業員全員を対象に、所属部署の必要に応じてスキル研修が受けられるよう整備している ・従業員が主体的勉強できる環境を整えている ・役職者を対象に、階層別研修を行っている ・等級別研修の実施を予定している				4	5.5			8	9								
9	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本			・パートタイム労働法、労働契約法などの改正内容を理解し、同一労働同一賃金などの原則に沿った体制を整備し、実施している					5.5			8.5		10.2 10.3							
10	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ			・従業員に対し禁煙火、サウナなどリフレッシュのためのアクティビティを提供し、常時利用できるようサポートしている			3					8									
11	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本			・自治体のルールに従い、廃棄物を適切に分別・処理している											11.6	12		14.1			
12	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本			・電気、ガスなどの使用料を把握している								7.3				13					
13	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本			・夜間の業務が発生しないため、環境への負担軽減に貢献できている ・オフィス内の照明のほぼすべてをLEDに変え、省エネ、温暖化対策に努めている ・脱炭素経営の実現に向け、炭素会計アドバイザーの資格を取得								7.2 7.3			12.4	13.3					
14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本			・法令などで規制されている有害化学物質を把握し、新規購入物に含まれていないことを確認している			3.9				6.3				11.6	12.4					
カテゴリー	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (異などの取得証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
15	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本			・環境への影響が少ないエコマーク製品などを優先的に購入している							6.6									15	
16	【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本			・空き店舗を活用しオフィスを開設している ・従業員主導で子ども服や不用品のリサイクル活動を行っている											13		14.1				
17	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ			・水道の利用状況を把握している ・トイレに節水のための対策を導入している							6.4 6.6										
18 環境	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	【非該当】		取得予定なし			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
19	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ			・中小企業版SBT認定の取得や自社の取り組み状況をHPで公開できる体制を構築している												12.6					

41	【社会的責任】 ・CSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	【予定】	-議論、検討を進める													16	
42	【事業継続】 -事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	【予定】	-災害時を想定した安全確保のルールを策定している。 -事業継続計画と並行し検討を進める						9		11		13 13.1			16	
43	【事業承継】 -事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	【予定】	-議論、検討を進める						8	9							17

上記以外で設定した取組項目

[illegible]

【記載留意事項】
・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言にに合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。その後、取り進めるについては「具体的な取組」の「予定」を選択入力してください。
・（**非該当**）欄については、「チェック項目」が事実形態上、個人事業主等、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証、認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。
（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、長野県産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるほし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認定制度、長野県県産品02固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

- この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）に関する規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場、社会から期待される基本的な事項）について整理し作成
○「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は「**是**」、間接的に（結果として）寄与する「**ゴ**」が当てはまる場合は、**否**」で番号を記載
○企業が自ら申請する際には、チェック欄のチェックとあわせて、「具体的な取組」へ取組内容を記載
※1 組織の社会的責任に関する国際規格 ※2 労働環境、製造プロセスの環境面に対する責任を持っていることを確認するための規定